

全国の中学校給食実施率 93.2% (文部科学省2018年5月時点の調査)  
おとなり川崎市でも2017年12月に全中学校で給食実施

## 給食から見える今の横浜の中学校

中学校の昼食の時間は15分。今でも、息つく暇もないほど、忙しい学校。



「今の体制のままでこれ以上は無理」と先生の声も多くあります。

給食の実現には、先生方の協力は欠かせません。コロナ禍で子どもたちの教育環境の改善は、今とても大切なことです。

子どもたちの声を聞き、市民、教職員、保護者が手をつなぎ、一緒に考え改善していきましょう！



## 給食は調理場所によって 内容やできることが違います

- ▶ **自校方式** (校舎と同じ敷地内に調理場所。  
アレルギー等個別対応でき、温かいものを提供できます。)
- ▶ **親子方式** (近隣の小学校の調理場で調理し、  
中学校へ届けます。)
- ▶ **センター方式** (横浜で実施の場合は、15000食  
規模の給食センターが6か所必要。  
調理し、ブロック内の学校へ届けます。)
- ▶ **デリバリー方式** (横浜では、業者がおかずを  
一度19°Cに冷やして届けます。)
- ▶ **現在の横浜市** デリバリー方式で、21年から栄養士が配置され、「給食」と言っていますが、従来のハマ弁と変わりません。フル稼働でも提供できるのは、全生徒の3割といわれています。昼食の時間は、お弁当、パン注文、注文弁当、コンビニ、事前注文のデリバリー弁当などいろいろ。昼食が家庭環境の違いがあらわれる場になっています。「冷たくて美味しくない」「小学校のような給食がいい」と子どもたちの声が寄せられています。

横浜の中学生に  
学校で作る温かい給食を！



## 憲法26条2

義務教育は、これを無償とする



## 県内でも続々と

中学校給食が始まっています

2021年度開始 横須賀市・秦野市

2023年度開始予定 葉山町・寒川町・大磯町



## 給食の無償化は時代の流れ

2022年度になり、  
給食費完全無償化・一部無償化は  
全自治体の32.7% (5年前は16%)



## 県内でも給食の無償化開始

箱根町 小中学校給食費無償化  
中井町 中学校給食無償化  
ゆくゆくは小学校給食費も無償化へ  
大和市 (第3子以降)・松田町 (950円補助/月)

『すべての中学校で、  
みんなができたてを  
食べられる給食を始  
めてください』署名に  
ご協力よろしく  
お願いします。

